

平成23年度事業計画について経営協議会を開催！ しかし、会社の姿勢は 職場の声・労働組合の意見を聞かない！ 答えない！

4月15日、名古屋地本は「23年度事業運営の基本方針」について経営協議会を開催しました。

会社より

1. 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
2. 競争力強化およびサービスの向上
3. 効率的な業務遂行体制の構築
4. 良識ある行動の徹底

について説明を受け、職場を代表して組合側からは山田委員長より

1. 東日本大震災での福島原発からの放射能漏れに関して企業の責任が問われているが、リニアに対する地震の危険性、安全対策についてどの様に考えているのか。
 2. 今回の震災に対して、われわれは労働組合として支援を行っているが、会社としての人的支援等を考えているのか。
 3. 安全・安定輸送を述べているが、中央線ではATS-PT、発車アラームの導入後から慢性的な遅れが発生している。実態の把握と対策を考えているのか。
 4. 社長はATS-PTを導入しても決められた事を社員一人ひとりが、守ることであると述べているが、この間ATS-PTについては問題提起をしてくれているが改善されていない。
 5. 「規律・良識ある行動の徹底」は現場社員に対して、上から目線で一方的に押しつけただけである。
 6. 安全問題に関して労働組合の意見を受け入れるべきである。
 7. 運輸区での前泊について規制をするべきではない。するのであれば早出出勤を無くすべきである。
 8. 駅において休日出勤が発生している。乗務員職場の様に非番で出来るようにすること。
- 以上の主張を述べ、会社より回答を求め議論を行った。

主な議論

地震に対する安全問題について

会社：リニアについてはこの場では議論する必要はない。

組合：安全に関する会社としての見解を示して欲しい。

会社：リニアについては答える必要はないと言っているでしょう。

組合：安全は全てに関する事柄ではある。基本姿勢を述べてもらえば良い。

会社：それについては答えません。

組合：しっかり答えるべきではないか。

会社：答えないと言っている。これ以上やりませんよ。

組合：会社は安全問題については答える気がないのか。

安全・安定輸送について

組合：安全・安定輸送と言うが中央線では遅れが頻繁に発生している。遅れの実態を把握しているのか。

会社：新年度、新学期等により不慣れなお客様により遅れは発生していると考える。

組合：ダイ改後からである。東海道線はあまり遅れはないが中央線は毎日遅れが出ている。不慣れなお客様だけではない。運転士、車掌の確認が多くなっている。

会社：それは関係ない。

組合：アラームについても東海道と比べすぐに鳴らない事も原因ではないか。

組合：安全に関する施策が今回は、ないが何故なのか。

会社：車両の改良、CTC・PRC取り替え等を行います。

組合：車両の改良、具体的に何を行うのか。

会社：ワンマン車両のドア誤扱い防止策を考えている。

ATS-P Tについて

組合：ATS-P T、パターンが作られたのか分からないので運転士の負担となっている。運転席でパターンが分かるようにすべきである。

会社：信号を見て速度を守っていれば負担にはならない。

組合：運転士から不安と負担になっていると声が出ている。会社は対策を考えるべきではないか。

規律・良識ある行動について

組合：規律・良識ある行動について、会社はミス、事故があったら全て社員に原因があり責任とする内容になっている。職場を暗くするだけのことである。こんな事を、今さら言われなくても、現場の社員はやっていることである。

会社：皆さんがやっているのであれば、問題ないではないか。

組合：社員には正しい報告と言いながら、例えば会社掲示文書について質問をしても答えず隠している事が多く情報を正しく提供していない。

会社：個人を特定することがないようにしている。

組合：出勤遅延などは個人が特定できる内容で掲示をしているのではないか。

会社：それは個人を特定することが目的ではない。

組合：個人を特定することは、しないとと言いながら、やっているのではないか。

会社：それは揚げ足取りです。

組合：なにかミス・事故があれば個人の責任と言うことではないか。

会社：やっていないのですか。これは守るべき事柄が書いてあるだけだから何も問題ではない。

組合：「私たちは・・・します。」と言うのは現場社員がミス・事故を起こした場合、その責任を一方的に現場社員に押しつけていることにある。この文を読んだ社員は違和感を感じている。この様な物を出すことは社員が日頃、やっていない、信用出来ないから、出したのではないか。これが出ることにより現場ではミスをするとなげしく責められることになる。問題であり我々は認めていない、勝手に決めるつけるな。

安全・経営については労使の信頼関係が重要である。会社は労働組合の意見を謙虚な姿勢で聞かなければ企業の発展を望むことはできない。

以上